

# 船中八策

坂本竜馬



一、天下の政權を朝廷に奉還せしめ、政令宜しく朝廷より出づべき事。

一、上下議政局を設け、議員を置きて万機を参賛せしめ、万機宜しく公議に決すべき事。

一、有材の公卿・諸侯及天下およびの人材を顧問に備へ、官爵を賜ひ、宜しく従来有名無実の官を除くべき事。

一、外国の交際広く公議あらたを採り、新に至当の規約を立つべき事。

一、古来の律令を折衷し、新に無窮の大典を撰定すべき事。

一、海軍宜しく拡張すべき事。

一、御親兵を置き、帝都を守護せしむべき事。

一、金銀物貨宜しく外国と平均の法を設くべき事。

以上八策は、方今天下の形勢を察し、之をうだい宇内万国に徴す

るに、之を捨てて他に濟時の急務あるべし。苟も此数策を断  
行せば、皇運を挽回し、国勢を拡張し、万国と並立するも亦  
敢て難しとせず。伏て願くは公明正大の道理に基き、一大英  
断を以て天下と更始一新せん。

# 船中八策

底本：「日本の思想 20 幕末思想集」筑摩書房  
1969（昭和 44）年 7 月 5 日初版第 1 刷発行  
1975（昭和 50）年 4 月 15 日初版第 4 刷発行

底本の親本：「坂本竜馬関係文書」

入力：志田火路司

校正：土屋隆

2004 年 11 月 6 日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫  
(<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作  
にあたったのは、ボランティアの皆さんです。